

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2013年8月13日から2033年6月3日まで	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。 ・マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資し、市場環境に合わせて機動的に資産配分の調整を行う投資信託証券や海外の債券等に投資する投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）への投資を行います。 ・Aコース（為替ヘッジなし）の実質外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。 ・Bコース（為替ヘッジあり）の実質外貨建資産については、原則として、為替ヘッジにより米ドルと円との間の為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 ・資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年6月3日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市況動向等を勘案しながら決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

シュローダー・インカムアセット・アロケーション（1年決算型）

Aコース（為替ヘッジなし）／Bコース（為替ヘッジあり）

愛称 グランツール1年

第10期 運用報告書(全体版)

(決算日 2023年6月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・インカムアセット・アロケーション（1年決算型）Aコース（為替ヘッジなし）／Bコース（為替ヘッジあり）」は、2023年6月5日に第10期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders

シュローダー・インベストメント・マネジメント

Aコース（為替ヘッジなし）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配 金	期 騰 落 率		
	円		円	%	%	百万円
6期(2019年6月3日)	12,347		0	△ 0.7	98.9	1,645
7期(2020年6月3日)	12,106		0	△ 2.0	97.8	1,197
8期(2021年6月3日)	14,279		0	17.9	98.4	804
9期(2022年6月3日)	15,297		0	7.1	98.7	547
10期(2023年6月5日)	16,499		0	7.9	97.6	442

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2022年6月3日	円		%	%
	15,297		—	98.7
6月末	15,437		0.9	98.3
7月末	15,427		0.8	97.8
8月末	15,793		3.2	98.0
9月末	15,708		2.7	97.9
10月末	16,249		6.2	98.9
11月末	15,794		3.2	98.8
12月末	15,040		△1.7	97.2
2023年1月末	15,443		1.0	98.2
2月末	15,814		3.4	98.2
3月末	15,564		1.7	98.4
4月末	15,777		3.1	98.8
5月末	16,367		7.0	98.4
(期 末) 2023年6月5日	16,499		7.9	97.6

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

(注) 当ファンドは、親投資信託を通じて、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に実質的な投資を行います。
当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

Bコース（為替ヘッジあり）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
6期(2019年6月3日)	10,278			0	△	2.3	96.1	530
7期(2020年6月3日)	9,827			0	△	4.4	99.8	439
8期(2021年6月3日)	11,429			0		16.3	98.7	299
9期(2022年6月3日)	10,350			0	△	9.4	99.2	221
10期(2023年6月5日)	9,933			0	△	4.0	97.6	201

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
(期 首) 2022年6月3日	10,350	—	99.2
6月末	9,915	△4.2	100.8
7月末	10,044	△3.0	95.4
8月末	9,970	△3.7	99.7
9月末	9,465	△8.6	98.8
10月末	9,539	△7.8	98.5
11月末	9,838	△4.9	96.9
12月末	9,754	△5.8	97.6
2023年1月末	10,130	△2.1	97.5
2月末	9,909	△4.3	102.9
3月末	9,914	△4.2	97.9
4月末	9,975	△3.6	98.8
5月末	9,893	△4.4	102.9
(期 末) 2023年6月5日	9,933	△4.0	97.6

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

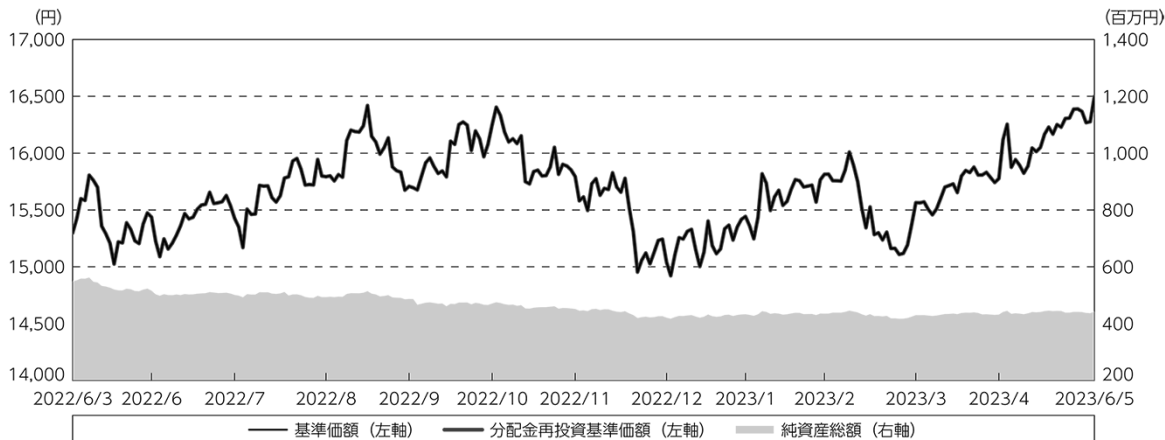
(注) 当ファンドは、親投資信託を通じて、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に実質的な投資を行います。
当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

Aコース（為替ヘッジなし）

○運用経過

（2022年6月4日～2023年6月5日）

期中の基準価額等の推移



期首：15,297円

期末：16,499円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：7.9%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2022年6月3日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首15,297円でスタートした基準価額は、16,499円（分配後）で期末を迎え、期首比7.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

投資適格債券、ハイイールド債券、新興国債券がプラスに寄与したことから、債券がパフォーマンスの主なプラス要因となりました。高い利回り水準はパフォーマンスを高める要因となりました。一方で、株式については、保有しているコア・グローバル戦略が軟調となったことから、高配当株式の組入れはパフォーマンスのマイナス要因となりました。軟調となった中国株式を中心とした新興国株式の組入比率を低位としたことは、マイナス幅の拡大の抑制につながりました。

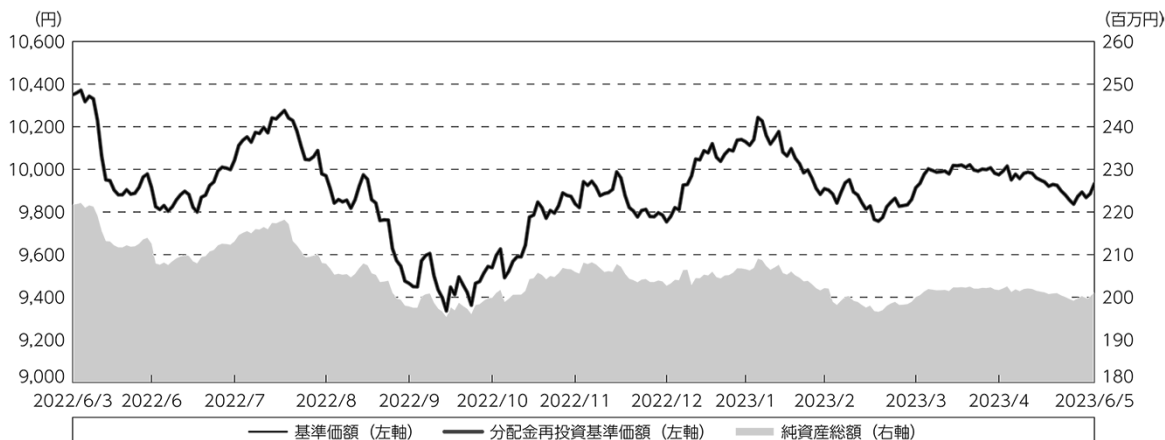
なお、当期、為替ヘッジを行わない当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

Bコース（為替ヘッジあり）

○運用経過

（2022年6月4日～2023年6月5日）

期中の基準価額等の推移



期首：10,350円

期末：9,933円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 4.0%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、期首（2022年6月3日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の変動要因

期首10,350円でスタートした基準価額は、9,933円（分配後）で期末を迎え、期首比4.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

投資適格債券、ハイイールド債券、新興国債券がプラスに寄与したことから、債券がパフォーマンスの主なプラス要因となりました。高い利回り水準はパフォーマンスを高める要因となりました。一方で、株式については、保有しているコア・グローバル戦略が軟調となったことから、高配当株式の組入れはパフォーマンスのマイナス要因となりました。軟調となった中国株式を中心とした新興国株式の組入比率を低位としたことは、マイナス幅の拡大の抑制につながりました。

なお、当期、為替ヘッジを行う当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）はヘッジコストの影響から下落しました。

投資環境

当期、各国中央銀行による金融引き締めを背景に、当期初から2022年10月にかけては世界株式は下落しましたが、その後、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペース鈍化の観測や、底堅い経済指標を背景に、上昇基調を辿り上昇して終わりました。国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

当期初から2022年8月にかけては、インフレ鈍化の兆候や金利の低下などを背景に世界株式は上昇しましたが10月にかけては、ロシア・ウクライナを巡る地政学リスクや各国中央銀行による金融引き締めを背景に株式市場は総じて下落基調となりました。特に新興国株式の下落幅が大きくなりました。債券については、当期初から2022年8月にかけては経済減速への懸念が強まったことから主要国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。8月以降10月にかけては、主要国の中央銀行の利上げを背景に、金利は総じて上昇基調を辿りました。景気後退懸念の高まりを背景としたセンチメントの悪化や金利上昇を背景に、クレジット資産は大幅に下落しました。10月以降、インフレピークアウトの見方や利上げペースの鈍化の観測などを背景に、世界株式は総じて上昇基調を辿りました。2023年3月、金融システム不安が拡がり、株式市場は急落する局面もありましたが、金融当局により迅速に支援策が打ち出され上昇基調に転じ、その後も、底堅い経済指標などが好感され、世界株式は当期末にかけて上昇しました。一方で、新興国株式については、中国経済の減速懸念などを背景に4月以降下落し、当期は下落して終わりました。債券については、2022年10月まで大きく利回りが上昇した後、当期末にかけては経済指標や利上げ予想に振られる形でボラティリティ（変動性）の高い市場となりましたが、底堅い経済指標を背景に、高水準の金利が維持されるとの見方が拡がり、当期の主要国の国債利回りは上昇しました。クレジット資産については2022年10月以降上昇基調に転じ、それまでの下落幅を縮小して終わりました。投資適格債券は下落、ハイイールド債券は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJの運用について

当期、2022年8月までの上昇を経た後、利益確定でコア・グローバル戦略の組入比率を引き下げ、より高いインカムが見込まれる米国株式に入れ替えました。また、中国経済指標が軟調であったことから、アジア株式の組入比率を引き下げました。2023年3月、シリコンバレーバンク（SVB）の経営破綻やスイス金融大手の救済買収を背景とした金融システム不安を受け、株式市場が大きく下落した局面で株式組入比率を引き下げました。そのほか、広範な世界株式から、高クオリティでバリュエーション（価値評価）が魅力的である日本株式や欧州株式に入れ替え、当期末までポジションを維持しました。

債券については、高水準にある利回りを獲得するため、当期前半にハイイールド債券および投資適格債券の組入比率を引き上げました。2023年2月、バリュエーションの魅力度が低下したと判断することから、ハイイールド債券の組入比率を引き下げました。投資適格債券はハイイールド債券に比べ、より安定的で高クオリティの特性があることから、ボラティリティの高い市場環境下、足元では投資適格債券を選好しています。新興国債券については選別的に組入れを維持しました。多くの新興国では利上げサイクルが先進国よりも進んでおり、インフレ安定化の兆候も見られていることから、投資先としての魅力度が上昇していると考えています。また、世界経済の減速が見込まれることから、ポートフォリオのデュレーションを引き上げました。

その他インカムアセットは、引き続き、流動性が高い上場銘柄を中心に組入れを維持しました。

作成基準日：2023年5月31日

マザーファンドの投資対象ファンドである
「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム」

■ ポートフォリオ利回り

	利回り
高配当株式	6.0%
債券	7.1%
その他インカムアセット	5.6%
ポートフォリオ全体	6.1%

・利回りの計算は委託会社の見解に基づき行っています。

■ 資産配分比率

	比率
高配当株式	23.9%
債券	56.6%
その他インカムアセット	9.7%
キャッシュ等	9.8%
合計	100.0%

■ 通貨別構成比

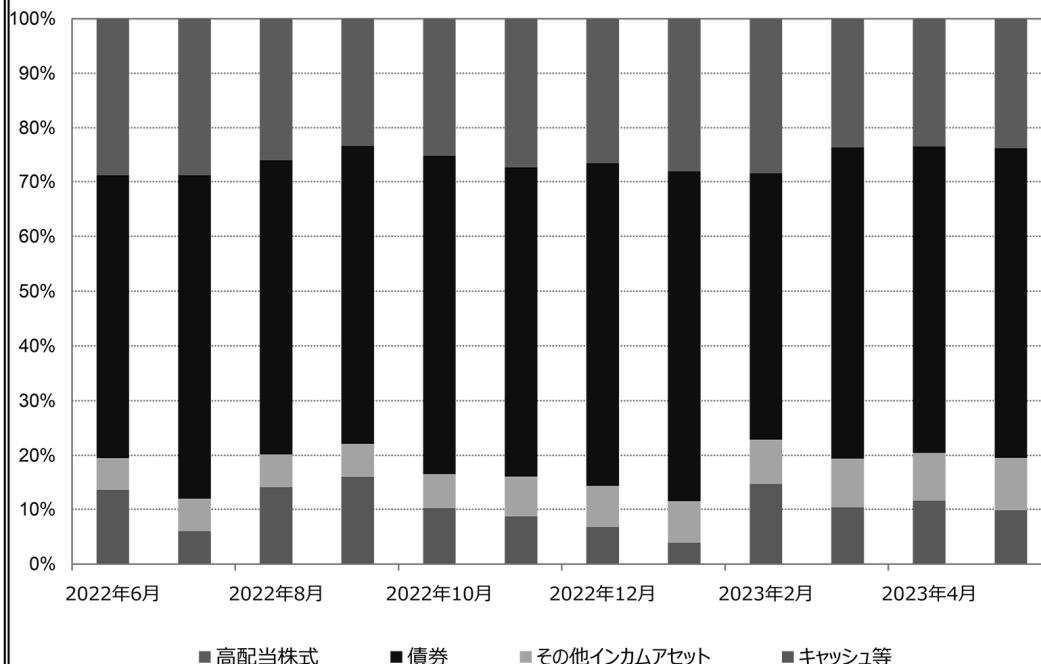
通貨	比率
米ドル・その他先進国通貨	94.5%
新興国通貨	5.5%
合計	100.0%

■ 地域別構成比

地域	比率
北米	62.1%
欧州	12.4%
新興国	8.5%
アジア・オセアニア	5.4%
英国	2.6%
その他	8.9%
合計	100.0%

■ 過去1年間のポートフォリオ利回り（上段）と資産配分比率（下段）の推移

2022年							2023年				
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
4.3%	4.1%	4.3%	6.3%	6.3%	5.8%	6.1%	5.8%	5.9%	6.1%	6.1%	6.1%



※「キャッシュ等」は、先物、ヘッジポジション等を考慮して算出したものです。

※配分および構成比率について、四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

Aコース（為替ヘッジなし）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2022年6月4日～ 2023年6月5日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,617

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

Bコース（為替ヘッジあり）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第10期
	2022年6月4日～ 2023年6月5日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,061

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

ポートフォリオでは、金融引き締めを背景とした、米国経済活動の減速に備えたポジションを維持しており、株式よりも債券を選好しています。

高い金利水準が米国の地方銀行にもたらす影響や、タイトなクレジット状況を踏まえ、ポートフォリオでは債券オーバーウェイト、株式アンダーウェイトのポジションを維持しています。株式には、景気後退のリスクの折り込みが進んでいないことも、同資産クラスについて慎重な見通しとする要因です。株式の中では、バリュエーションがより魅力的である日本株式や欧州株式に加え、キャッシュフローが健全な米国株式のクオリティ銘柄を選好しています。一方で、中国について、慎重な見通しとすることから、新興国株式の組入比率は低位としており、新興国のエクスポージャーは債券を通して取っています。新興国では、インフレ抑制のための利上げサイクルが先進国よりも進んでおり、分散効果も期待されることから、現地通貨建て新興国債券の組入れを維持しています。

全般的には、ソフトランディングの可能性よりも、流動性や金融状況を巡る懸念が上回ると判断することから、慎重な運用姿勢を維持する方針です。

Aコース（為替ヘッジなし）

○1万口当たりの費用明細

（2022年6月4日～2023年6月5日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	226	1.438	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 87 ）	（ 0.553 ）	・ファンドの運用判断、受託会社への指図
（ 販 売 会 社 ）	（ 130 ）	（ 0.830 ）	・基準価額の算出ならびに公表
（ 受 託 会 社 ）	（ 9 ）	（ 0.055 ）	・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
			・運用報告書等各種書類の交付
			・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
(b) そ の 他 費 用	18	0.112	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 4 ）	（ 0.023 ）	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	（ 14 ）	（ 0.088 ）	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI：Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料等
合 計	244	1.550	
期中の平均基準価額は、15,701円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

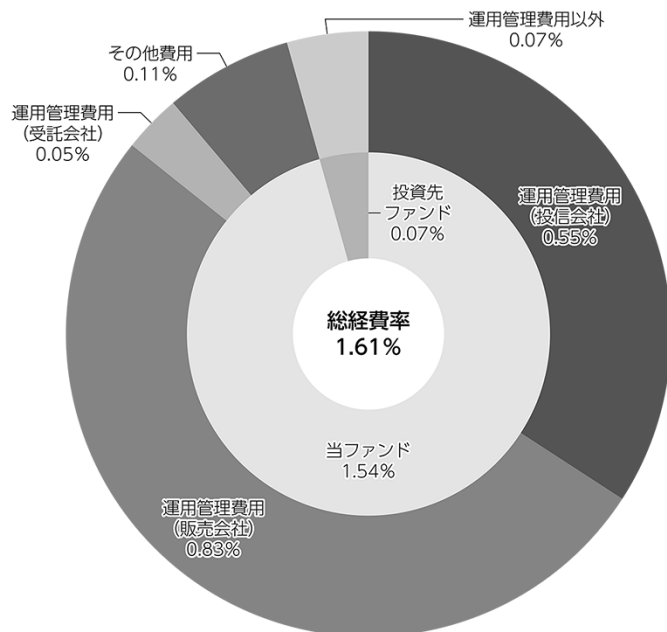
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.61
①当ファンドの費用の比率	1.54
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Aコース（為替ヘッジなし）

○売買及び取引の状況

（2022年6月4日～2023年6月5日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千口 23,951	千円 41,640	千口 110,933	千円 191,119

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年6月4日～2023年6月5日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年6月5日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千口 330,637	千口 243,655	千円 445,963

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2023年6月5日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千円 445,963	% 99.6
コール・ローン等、その他	1,631	0.4
投資信託財産総額	447,594	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

（注）シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,360,418千円）の投資信託財産総額（3,426,897千円）に対する比率は98.1%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=140.18円です。

Aコース（為替ヘッジなし）

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年6月5日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	447,594,119
シュロージャー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド(評価額)	445,963,538
未収入金	1,630,581
(B) 負債	4,959,154
未払解約金	1,630,581
未払信託報酬	3,090,934
その他未払費用	237,639
(C) 純資産総額(A－B)	442,634,965
元本	268,285,528
次期繰越損益金	174,349,437
(D) 受益権総口数	268,285,528口
1万口当たり基準価額(C／D)	16,499円

[元本増減]

期首元本額	358,108,541円
期中追加設定元本額	26,400,174円
期中一部解約元本額	116,223,187円

○損益の状況（2022年6月4日～2023年6月5日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	38,260,859
売買益	44,036,947
売買損	△ 5,776,088
(B) 信託報酬等	△ 7,178,933
(C) 当期損益金(A＋B)	31,081,926
(D) 前期繰越損益金	60,113,959
(E) 追加信託差損益金	83,153,552
(配当等相当額)	(86,223,400)
(売買損益相当額)	(△ 3,069,848)
(F) 計(C＋D＋E)	174,349,437
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	174,349,437
追加信託差損益金	83,153,552
(配当等相当額)	(86,348,890)
(売買損益相当額)	(△ 3,195,338)
分配準備積立金	91,195,885

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(15,880,505円)、費用控除後の有価証券等損益額(4,816,487円)、信託約款に規定する収益調整金(86,348,890円)および分配準備積立金(70,498,893円)より分配対象収益は177,544,775円(10,000口当たり6,617円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

Bコース（為替ヘッジあり）

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年6月4日～2023年6月5日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	142	1.438	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 55 ）	（ 0.553 ）	・ファンドの運用判断、受託会社への指図
（ 販 売 会 社 ）	（ 82 ）	（ 0.830 ）	・基準価額の算出ならびに公表
（ 受 託 会 社 ）	（ 5 ）	（ 0.055 ）	・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
			・運用報告書等各種書類の交付
			・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
(b) そ の 他 費 用	11	0.115	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 6 ）	（ 0.058 ）	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	（ 5 ）	（ 0.053 ）	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.004 ）	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI：Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料等
合 計	153	1.553	
期中の平均基準価額は、9,862円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

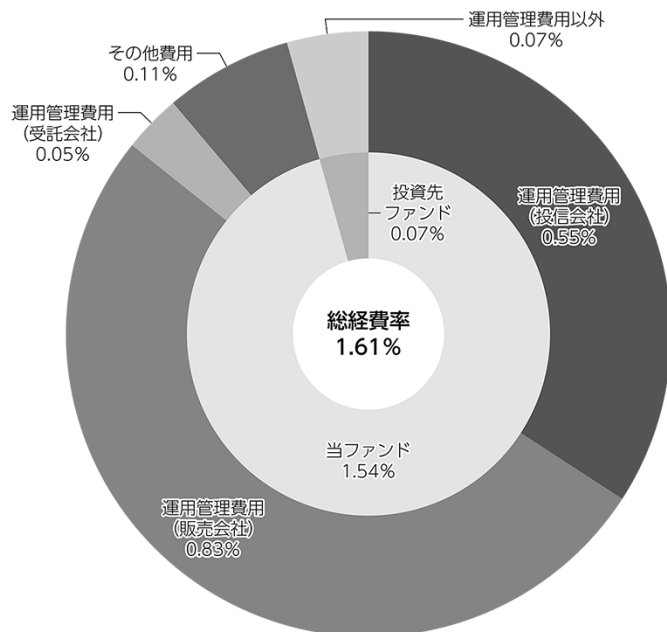
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.61%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.61
①当ファンドの費用の比率	1.54
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Bコース（為替ヘッジあり）

○売買及び取引の状況

（2022年6月4日～2023年6月5日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千口 22,231	千円 38,053	千口 46,026	千円 79,764

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年6月4日～2023年6月5日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年6月5日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千口 134,533	千口 110,738	千円 202,685

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2023年6月5日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千円 202,685	% 95.3
コール・ローン等、その他	10,076	4.7
投資信託財産総額	212,761	100.0

（注）金額の単位未満は切捨て。

（注）シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,360,418千円）の投資信託財産総額（3,426,897千円）に対する比率は98.1%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=140.18円です。

Bコース（為替ヘッジあり）

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年6月5日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	423,877,060
シュロージャー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド(信託)	202,685,119
未収入金	221,191,941
(B) 負債	222,729,616
未払金	221,153,153
未払解約金	20,403
未払信託報酬	1,445,023
その他未払費用	111,037
(C) 純資産総額(A－B)	201,147,444
元本	202,512,859
次期繰越損益金	△ 1,365,415
(D) 受益権総口数	202,512,859口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,933円

[元本増減]	
期首元本額	214,173,806円
期中追加設定元本額	7,070,735円
期中一部解約元本額	18,731,682円

○損益の状況（2022年6月4日～2023年6月5日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 4,956,550
売買益	63,384,971
売買損	△68,341,521
(B) 信託報酬等	△ 3,181,492
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 8,138,042
(D) 前期繰越損益金	△ 6,859,379
(E) 追加信託差損益金	13,632,006
(配当等相当額)	(39,362,187)
(売買損益相当額)	(△25,730,181)
(F) 計(C＋D＋E)	△ 1,365,415
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F＋G)	△ 1,365,415
追加信託差損益金	13,632,006
(配当等相当額)	(39,384,789)
(売買損益相当額)	(△25,752,783)
分配準備積立金	63,115,872
繰越損益金	△78,113,293

- (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,192,306円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(39,384,789円)および分配準備積立金(56,923,566円)より分配対象収益は102,500,661円(10,000口当たり5,061円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本(受益者のファンドの購入価額)と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

〈シュロダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド 第10期〉

【計算期間 2022年6月4日から2023年6月5日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年6月3日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）を通じて複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資し、市場環境に合わせて機動的に資産配分の調整を行います。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リクイディティ クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
6期(2019年6月3日)	12,860		1.0	98.0	10,797
7期(2020年6月3日)	12,823	△	0.3	96.9	7,194
8期(2021年6月3日)	15,358		19.8	97.3	5,360
9期(2022年6月3日)	16,715		8.8	97.8	4,010
10期(2023年6月5日)	18,303		9.5	96.9	3,398

(注) 基準価額は1万円当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2022年6月3日	16,715		—	97.8
6月末	16,887		1.0	98.1
7月末	16,897		1.1	97.6
8月末	17,320		3.6	97.6
9月末	17,250		3.2	97.4
10月末	17,863		6.9	98.3
11月末	17,389		4.0	98.0
12月末	16,582	△	0.8	97.1
2023年1月末	17,049		2.0	97.9
2月末	17,478		4.6	97.9
3月末	17,225		3.1	97.9
4月末	17,480		4.6	98.2
5月末	18,154		8.6	97.7
(期 末)				
2023年6月5日	18,303		9.5	96.9

(注) 基準価額は1万円当たり。

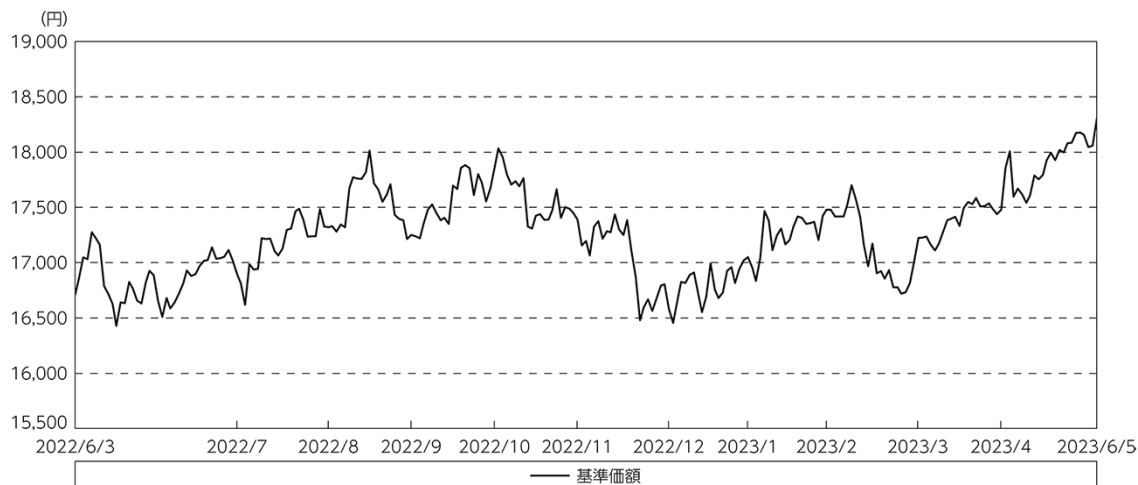
(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資を行います。
当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2022年6月4日～2023年6月5日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首16,715円でスタートした基準価額は、18,303円で期末を迎え、期首比9.5%の上昇となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

投資適格債券、ハイイールド債券、新興国債券がプラスに寄与したことから、債券がパフォーマンスの主なプラス要因となりました。高い利回り水準はパフォーマンスを高める要因となりました。一方で、株式については、保有しているコア・グローバル戦略が軟調となったことから、高配当株式の組入れはパフォーマンスのマイナス要因となりました。軟調となった中国株式を中心とした新興国株式の組入比率を低位としたことは、マイナス幅の拡大の抑制につながりました。

投資環境

当期、各国中央銀行による金融引き締めを背景に、当期初から2022年10月にかけては世界株式は下落しましたが、その後、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペース鈍化の観測や、底堅い経済指標を背景に、上昇基調を辿り上昇して終わりました。国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

当期初から2022年8月にかけては、インフレ鈍化の兆候や金利の低下などを背景に世界株式は上昇しましたが10月にかけては、ロシア・ウクライナを巡る地政学リスクや各国中央銀行による金融引き締めを背景に株式市場は総じて下落基調となりました。特に新興国株式の下落幅が大きくなりました。債券については、当期初から2022年8月にかけては経済減速への懸念が強まったことから主要国の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。8月以降10月にかけては、主要国の中央銀行の利上げを背景に、金利は総じて上昇基調を辿りました。景気後退懸念の高まりを背景としたセンチメントの悪化や金利上昇を背景に、クレジット資産は大幅に下落しました。10月以降、インフレピークアウトの見方や利上げペースの鈍化の観測などを背景に、世界株式は総じて上昇基調を辿りました。2023年3月、金融システム不安が拡がり、株式市場は急落する局面もありましたが、金融当局により迅速に支援策が打ち出され上昇基調に転じ、その後も、底堅い経済指標などが好感され、世界株式は当期末にかけて上昇しました。一方で、新興国株式については、中国経済の減速懸念などを背景に4月以降下落し、当期は下落して終わりました。債券については、2022年10月まで大きく利回りが上昇した後、当期末にかけては経済指標や利上げ予想に振られる形でボラティリティ（変動性）の高い市場となりましたが、底堅い経済指標を背景に、高水準の金利が維持されるとの見方が拡がり、当期の主要国の国債利回りは上昇しました。クレジット資産については2022年10月以降上昇基調に転じ、それまでの下落幅を縮小して終わりました。投資適格債券は下落、ハイイールド債券は上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、2022年8月までの上昇を経た後、利益確定でコア・グローバル戦略の組入比率を引き下げ、より高いインカムが見込まれる米国株式に入れ替えました。また、中国経済指標が軟調であったことから、アジア株式の組入比率を引き下げました。2023年3月、シリコンバレーバンク（SVB）の経営破綻やスイス金融大手の救済買収を背景とした金融システム不安を受け、株式市場が大きく下落した局面で株式組入比率を引き下げました。そのほか、広範な世界株式から、高クオリティでバリュエーション（価値評価）が魅力的である日本株式や欧州株式に入れ替え、当期末までポジションを維持しました。

債券については、高水準にある利回りを獲得するため、当期前半にハイイールド債券および投資適格債券の組入比率を引き上げました。2023年2月、バリュエーションの魅力度が低下したと判断することから、ハイイールド債券の組入比率を引き下げました。投資適格債券はハイイールド債券に比べ、より安定的で高クオリティの特性があることから、ボラティリティの高い市場環境下、足元では投資適格債券を嗜好しています。新興国債券については選別的に組入れを維持しました。多くの新興国では利上げサイクルが先進国よりも進んでおり、インフレ安定化の兆候も見られていることから、投資先としての魅力度が上昇していると考えています。また、世界経済の減速が見込まれることから、ポートフォリオのデュレーションを引き上げました。

その他インカムアセットは、引き続き、流動性が高い上場銘柄を中心に組入れを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

ポートフォリオでは、金融引き締めを背景とした、米国経済活動の減速に備えたポジションを維持しており、株式よりも債券を選好しています。

高い金利水準が米国の地方銀行にもたらす影響や、タイトなクレジット状況を踏まえ、ポートフォリオでは債券オーバーウェイト、株式アンダーウェイトのポジションを維持しています。株式には、景気後退のリスクの折り込みが進んでいないことも、同資産クラスについて慎重な見通しとする要因です。株式の中では、バリュエーションがより魅力的である日本株式や欧州株式に加え、キャッシュフローが健全な米国株式のクオリティ銘柄を選好しています。一方で、中国について、慎重な見通しとすることから、新興国株式の組入比率は低位としており、新興国のエクスポージャーは債券を通して取っています。新興国では、インフレ抑制のための利上げサイクルが先進国よりも進んでおり、分散効果も期待されることから、現地通貨建て新興国債券の組入れを維持しています。

全般的には、ソフトランディングの可能性よりも、流動性や金融状況を巡る懸念が上回ると判断することから、慎重な運用姿勢を維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年6月4日～2023年6月5日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料等
合計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、17,297円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月4日～2023年6月5日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ	24,980	1,813	103,709	7,474

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月4日～2023年6月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年6月5日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
シュローター・インターナショナル・セレクション・ ファンド ドル・リクイディティ クラス I	0.9	0.9	0.11	15	0.0	
シュローター・インターナショナル・セレクション・ ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラス J	400,921	322,192	23,487	3,292,501	96.9	
合 計	口 数 ・ 金 額	400,922	322,193	23,487	3,292,516	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	2	-	<96.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2023年6月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 3,292,516	% 96.1
コール・ローン等、その他	134,381	3.9
投資信託財産総額	3,426,897	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(3,360,418千円)の投資信託財産総額(3,426,897千円)に対する比率は98.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=140.18円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年6月5日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,426,897,998	
コール・ローン等	66,479,833	
投資証券(評価額)	3,292,516,494	
未収入金	54,007,690	
未収配当金	13,893,981	
(B) 負債	28,142,649	
未払解約金	28,137,188	
未払利息	198	
その他未払費用	5,263	
(C) 純資産総額(A-B)	3,398,755,349	
元本	1,856,977,467	
次期繰越損益金	1,541,777,882	
(D) 受益権総口数	1,856,977,467口	
1万口当たり基準価額(C/D)	18,303円	

[元本増減]

期首元本額	2,399,095,248円
期中追加設定元本額	147,606,400円
期中一部解約元本額	689,724,181円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュロダー・インカムアセット・アロケーション(毎月決算型)Aコース(為替ヘッジなし)	1,441,751,923円
シュロダー・インカムアセット・アロケーション(毎月決算型)Bコース(為替ヘッジあり)	60,830,823円
シュロダー・インカムアセット・アロケーション(1年決算型)Aコース(為替ヘッジなし)	243,655,979円
シュロダー・インカムアセット・アロケーション(1年決算型)Bコース(為替ヘッジあり)	110,738,742円

○損益の状況 (2022年6月4日~2023年6月5日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	168,213,680	
受取配当金	168,261,418	
支払利息	△ 47,738	
(B) 有価証券売買損益	156,134,796	
売買益	304,190,633	
売買損	△ 148,055,837	
(C) 保管費用等	△ 29,416	
(D) 当期損益金(A+B+C)	324,319,060	
(E) 前期繰越損益金	1,610,976,384	
(F) 追加信託差損益金	105,414,810	
(G) 解約差損益金	△ 498,932,372	
(H) 計(D+E+F+G)	1,541,777,882	
次期繰越損益金(H)	1,541,777,882	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュロージャー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／ミドル建て	
主な投資対象	世界の株式、債券、代替資産等	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>世界の様々な資産クラスへの分散投資を通じて、収益確保および中長期的な元本成長を目指します。</p> <p>※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■ ファンドはアクティブ運用され、直接またはデリバティブを通じて間接的に株式および株式関連証券、固定利付債券、代替資産（不動産、インフラ、未公開株、商品、貴金属、ヘッジファンド）へ投資します。代替資産への投資は投資適格資産に限りま。</p> <p>■ 投資適格未満（S&P グローバル・レーティングによる格付あるいは他社同等格付）の固定利付債券および変動利付債券や無格付け債券への投資割合は純資産の50%以下とします。</p> <p>■ 新興市場における固定利付債券および変動利付債券への投資割合は純資産の50%超となる場合があります。</p> <p>■ 資産担保証券および不動産担保証券への投資割合は純資産の20%以下とします。</p> <p>■ 収益の追求、運用資産の価格下落リスクの抑制および資産の効率的な運用のため、デリバティブ取引（トータル・リターン・スワップを含む）を買い建て、売り建て共に活用することがあります。</p> <p>■ トータル・リターン・スワップや差金決済取引は、株式および株式関連証券、固定利付債券や変動利付債券もしくは商品先物指数の買い建て、売り建てに使用されることがあり、原則として純資産の20%に収まる範囲で活用し、最大でも純資産の30%を超えることはありません。</p> <p>また、当該スワップの原資産はファンドの投資対象資産に限定します。</p> <p>■ 投資信託証券への投資割合は、純資産の10%以下とします。</p> <p>■ 短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。</p> <p>■ 投資運用会社の評価方式に基づき、MSCI AC World Index (USD) の30%、Barclays Global Aggregate Corporate Bond Index (USD) の40%、Barclays Global High Yield excl CMBS & EMG 2% index (USD)の30%よりも総合して高いサステナビリティ・スコアを維持します。（投資プロセスは交付目論見書「追加的記載事項」に掲載の「サステナビリティ基準」をご参照ください。）</p> <p>■ ファンドは投資運用会社のウェブページ www.schroders.com/en/lu/private-investor/gfclに掲げる「サステナビリティ情報」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.07%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2013年5月22日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュロージャー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュロージャー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカムの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュロージャー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・マルチ・アセット・インカム

Statement of Operations for the Year Ended 31 December 2022	Schroder ISF Global Multi- Asset Income USD
NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR	1,780,124,934
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	12,982,109
Interest income from investments, net of withholding taxes	28,771,829
Interest on swap contracts	-
Bank interest	437,653
Other income	-
TOTAL INCOME	42,191,591
EXPENSES	
Management fees	13,907,471
Performance fees	-
Administration fees	2,179,667
Taxe d'abonnement	487,576
Depository fees	385,764
Distribution fees	1,224,037
Bank and other interest expenses	97,002
Interest on swap contracts	1,945,433
Operating expenses	470,795
TOTAL EXPENSES	20,697,745
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	21,493,846
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	(16,077,999)
Options contracts	(14,352)
Financial futures contracts	537,359
Forward currency exchange contracts	(18,658,224)
Swaps contracts	6,627,536
Currency exchange	(5,638,512)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	(33,224,192)
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(244,531,912)
Options contracts	1,247,039
Financial futures contracts	2,968,330
Forward currency exchange contracts	(2,138,676)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(369,658)
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(242,824,877)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	(254,555,223)
Subscriptions	1,242,842,458
Redemptions	(1,754,459,355)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	(511,616,897)
Dividend distributions	(34,625,710)
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	979,327,104

【上位10銘柄】

(2022年12月31日現在)

	銘柄名	通貨	種別	業種	比率 (%)
1	Schroder ISF Multi-Asset Growth and Income - Class I USD Distribution	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	3.80
2	Schroder ISF Emerging Markets Multi Asset - Class I USD Distribution	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	3.67
3	US Treasury 2.75% 31/07/2023	米ドル	外国債券	国債	3.11
4	Microsoft Corp.	米ドル	外国株式	情報技術	1.42
5	Apple, Inc.	米ドル	外国株式	情報技術	0.84
6	UnitedHealth Group, Inc.	米ドル	外国株式	ヘルスケア	0.78
7	Alphabet, Inc. 'A'	米ドル	外国株式	通信サービス	0.58
8	Texas Instruments, Inc.	米ドル	外国株式	情報技術	0.54
9	JPMorgan Chase & Co. 2.58% 22/04/2032	米ドル	外国債券	金融	0.50
10	Mastercard, Inc. 'A'	米ドル	外国株式	情報技術	0.48
				銘柄数	1,020

「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	米ドル建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&P グローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を考慮に入れる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。</p> <p>※元本の保全と流動性の確保を保证するものではありません。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。 ■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュロダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュロダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュロダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended 31 December 2022	Schroder ISF US Dollar Liquidity USD
NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR	368,935,521
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	-
Interest income from investments, net of withholding taxes	6,735,556
Interest on swap contracts	-
Bank interest	698,196
Other income	-
TOTAL INCOME	7,433,752
EXPENSES	
Management fees	740,191
Performance fees	-
Administration fees	239,719
Taxe d'abonnement	47,033
Depository fees	20,516
Distribution fees	-
Bank and other interest expenses	571
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	100,530
TOTAL EXPENSES	1,148,560
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	6,285,192
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	(629,755)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	-
Swaps contracts	-
Currency exchange	(52,392)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	(682,147)
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(682,172)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	-
Swaps contracts	-
Currency exchange	3
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(682,169)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	4,920,876
Subscriptions	639,029,718
Redemptions	(580,931,887)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	58,097,831
Dividend distributions	-
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	431,954,228

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2022

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing				
Bonds				
Financials				
US Treasury 0.125% 31/05/2023	USD	30,793,000	30,231,268	7.00
US Treasury 0.5% 30/11/2023	USD	25,250,000	24,308,057	5.63
US Treasury Bill 0% 05/01/2023	USD	33,897,000	33,890,729	7.85
US Treasury Bill 0% 26/01/2023	USD	20,795,000	20,746,509	4.80
US Treasury Bill 0% 23/02/2023	USD	13,890,000	13,808,601	3.20
US Treasury Bill 0% 23/03/2023	USD	17,065,000	16,906,758	3.91
US Treasury Bill 0% 20/04/2023	USD	17,571,000	17,342,568	4.01
US Treasury Bill 0% 18/05/2023	USD	14,644,000	14,395,867	3.33
US Treasury Bill 0% 07/09/2023	USD	18,936,000	18,368,890	4.25
US Treasury Bill 0% 02/11/2023	USD	17,808,000	17,136,332	3.97
			207,135,579	47.95
Total Bonds			207,135,579	47.95
Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing			207,135,579	47.95
Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market				
Commercial Papers				
Financials				
Credit Agricole Corporate and Investment Bank SA 0% 13/03/2023	USD	24,000,000	23,785,623	5.51
DNB Bank ASA 0% 14/04/2023	USD	15,000,000	14,802,731	3.43
DNB Bank ASA 0% 14/08/2023	USD	15,000,000	14,535,690	3.37
Mizuho Bank Ltd. 0% 23/02/2023	USD	25,000,000	24,826,216	5.74
MUFG Bank Ltd. 0% 28/03/2023	USD	25,000,000	24,719,378	5.72
Royal Bank of Canada 0% 17/03/2023	USD	24,250,000	24,010,110	5.56
Santander UK plc 0% 05/06/2023	USD	25,000,000	24,483,208	5.67
Societe Generale SA 0% 17/01/2023	USD	15,400,000	15,366,813	3.56
Toronto-Dominion Bank (The) 0% 12/01/2023	USD	20,000,000	19,968,851	4.62
			186,498,620	43.18
Total Commercial Papers			186,498,620	43.18
Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market			186,498,620	43.18
Total Investments			393,634,199	91.13
Cash			38,496,218	8.91
Other assets/(liabilities)			(176,189)	(0.04)
Total Net Assets			431,954,228	100.00